

## 防災マップ作り

住民同士で話し合う機会を設けて、危険な場所や、避難場所、消火栓や食料品店の位置などが一目で分かる地図を作り、災害時に必要な情報を共有する地域が増えています。

### 防災マップを作成した地域の方に話を聞きました

たけうち ようこ  
北郷瑞穂町内会 竹内 洋子さん



昨年、町内会の一部の地域で防災マップを作りました。作成の過程で、高圧線の位置や孤立する可能性のある地区など、長年住んでいても知らない危険な場所が見えてきました。完成後配布された住民の方からは「避難経路が一目で分かるので、安心した」という声も上がっていますよ。現在、残りの地域でマップ作りを行っています。一人でも多くの方に知恵を出していただき、マップの完成度を高めて災害に備えたいですね。



実際に避難経路などを確認しながら町内を歩き、その結果を地図に落とし込んで精度を上げていく。

## マンション防災

マンションでは、地震に伴う停電の影響で、エレベーターや玄関のオートロックのほか、水道やガスの供給も全て停止する可能性があります。そのため、一戸建て住宅とは違った対策が必要になります。

### マンションの防災に力を入れている方に話を聞きました

マンションの住民などで構成される組織  
厚別区パークアベニュー防災協議会  
きたがわ しげき  
北川 重喜さん

ベランダの避難はしごを使った防災訓練を実施しているほか、逃げ遅れた住民を素早く把握できるよう、「避難完了」と書かれた札を全戸に配布し、避難時にドアに張るようお願いしています。たくさんの方が住むマンションでは、一軒家とは違った備えや心構えが必要です。住民の皆さんにそのことを認識していただき、マンション全体の防災意識を高めていきたいです。



年1回、大規模な防災訓練を実施。「参加者を増やすため、毎年違った訓練を取り入れるなど工夫している」と、北川さんは話す。

## 風水害への備えも

地震だけでなく、台風や大雨などによって起こる風水害にも気を付けなければなりません。風水害は地震と違い、テレビやラジオで事前に情報を得ることができます。気象情報を確認し、危険な状況に陥る前に避難しましょう。



平成16年には台風18号が札幌に上陸。市内で4人の死者、92人の負傷者が出る大惨事となった。

### 自宅の洪水被害予測を確認しておこう

洪水に備えるため、河川の氾濫による被害予測をまとめた「洪水ハザードマップ」を配布しています。

配布場所 区役所、市役所  
6階危機管理対策課



## 地域のつながりが命を守る力に

災害による被害を最小限にするためには、一人一人の備えのほか、日頃から地域のつながりをつくっておくことが大きな力になります。

東日本大震災の発生から1年半。このような大地震が札幌で起こらないとは限りません。この機会に、家族や地域の方々と、災害時の行動や備えについて、あらためて話し合ってみませんか。

### 防災DVDを貸し出しています

災害時の行動や心構えなどを学べるDVDです。

貸出場所 区役所、まちづくりセンターなど

マンション防災、企業防災のパンフレットを配布しています

マンションならではの大地震への対処法や、企業で考えておくべき防災対策について紹介しています。

配布場所 区役所、市役所6階危機管理対策課

